

オンデマンド型のオンライン授業での TTS合成音の活用

日時：2021. 5.7 (金) 12:20~13:15

場所：Zoomによる遠隔開催

講師：東淳一 (神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学部教授)

申込：お申し込みフォーム；<http://bit.ly/promis0507>

※事前登録後、接続情報をお送りします (QRコードもご利用下さい)



講演内容

オンデマンド型の授業といえば、まずあらかじめ教員が自身の講義をビデオ録画しておく方法が思い浮かぶ。しかしこの一見して簡単に思える方法の場合、収録時に言い間違ったり、黒(白)板に板書するため教員が動いて音声が届きにくくなったり等、収録に問題が生じる可能性が高い。このため最悪最初から録画をやり直したり、うまく収録できた複数のビデオクリップを繋げるべく編集したりと、手間のかかることが多い。学習者の立場から考えても、動画を視聴するだけでは授業内容が記憶に残らない、配布された別の資料を見ながら動画もフォローすることが心理的に負担となる等の問題がある。これらの問題を解決する方法として、Moodle等のLMSに講義の内容をテキストとしてある程度入れておき、同時のそのページに解説の音声をTTS合成音で埋め込むことで、効率的かつ簡単に再利用可能なオンデマンド型授業の構築が可能となる。発表では、2020年度に実施した、高品質TTS合成音を活用したオンデマンド型オンライン授業について報告し、Google CloudおよびAmazon PollyのTTS (Text-to-Speech) 合成音を用いた、外国語授業について具体的に解説する。

講師略歴

神戸市外国語大学英米学科卒業、兵庫教育大学学校教育研究科修了後、賢明女子学院短期大学助教授、流通科学大学教授、順天堂大学教授を経て、2015年より神戸学院大学グローバル・コミュニケーション学部教授(2017-2019年同学部長)。2017年オーストリア、クラゲンフルト大学大学院博士課程(情報科学)満期退学。専門は英語教育、音声学。近年は合成音声や人工知能(AI)を搭載した英会話学習用ロボットを英語教育に導入するなど最先端の試みを行っている。

問い合わせ先：林良子 (神戸大学国際文化学研究科) [rhayashi\[at\]kobe-u.ac.jp](mailto:rhayashi[at]kobe-u.ac.jp)

*PPBB (Phonetics/Phonology Brown Bag) は言語・音声に興味のある方ならどなたでも参加できます。

原則として毎週金曜日昼休みにオンラインで開催しています。

詳しくは、高橋康徳 ([ytakahashi\[at\]port.kobe-u.ac.jp](mailto:ytakahashi[at]port.kobe-u.ac.jp)) まで。